

編集後記

平成23年1月の総会の折、野下千年会長とのちに実行委員長に就任する神崎正弘専務理事から長崎県宗教者懇話会創立40周年記念誌製作の件が議案として上程された。お二人は昭和47年の発足当時より当会との関わりが深く、節目の年にこれまでの活動の轍を後世に残し、宗懇の存在意義を多くの人々に知ってもらいたいとの思いを熱く語った。その後審議に移り、全会一致で承認された。

そして、神崎師は実行委員長に推挙され、準備を進めた。実行委員会のメンバーも決まり、記念誌の体裁、内容など細かい部分までが決められていった。平成24年5月、会員並びに関係者への原稿の依頼状を送付した。実はここからが大変なことになっていくことを誰も予想しなかった。

平成25年を迎え、新年会となる1月の総会を機に原稿が集まり始めた。しかしながら、まだ50パーセントにも及ばない。平成26年1月の総会時に記念誌の初校を会員に披露したが、野下会長と事務局との連携不足から諸問題が起こり、その問題の解決と修正にこころか乗り出した。そして、予算の見直し、印刷会社の変更等があり、今一度編集委員会を招集し再度の校正作業に入った。野下会長の本紙に賭ける熱い思いが実行委員長、編集委員にも伝わり、急ピッチで作業は進められた。御一人、御一人が日々多忙な毎日を送る中での執筆及び編集作業は、各先生方の宗懇への思いの表れであり、そしてその思いがここにつづられている。

是非この記念誌を多くの方々に見てもらいたい。宗教者同士



が手に手を携え、宗教・宗派を超えて祈る姿を。そしてそこには、人として生きていく中で大切なものを感じていただきたい。奇しくも来年は終戦70周年の節目の年を迎える。記念事業として広島県宗教連盟との共催により、バチカン・南スペイン巡礼の旅が企画された。私たち宗教者は改めて原爆殉難者を始め全戦没者に対し慰霊の真心を捧げなければならない。何故ならこの戦後70年を顧みるとき、世界各地で戦争・紛争・テロリズムが幾度となく繰り返され、多くの人々が犠牲となり痛惜の極みである。人類初の原子爆弾の悲劇を体験した広島・長崎両都市の宗教者として、このような戦争・紛争のない平和で美しい地球を次世代へ残せるよう手に手を携え世界平和を祈り、行動しなければならぬ年でもある。

私は平成16年から事務局として宗懇のお手伝いをさせてもらっている。県内でも有名な社寺教会の先生方との関わりは、何物にも代えがたい私の財産である。今後とも末永くご指導をいただきたいと思う。どうか各先生方には、お体にご留意されご健勝にて、今後のご活躍を祈念申し上げたい。

結びに、この記念誌発刊が大幅に遅れたことに対し、深くお詫び申し上げますと共に、この記念誌製作に関わった全ての方々、特に編集・印刷を請け負われた聖母の騎士社の赤尾代表とスタッフの皆様、並びに神社業務外で宗懇の資料作りを笑顔で手伝ってくれた諏訪神社の巫女さんたちへ満腔の思いを込めて感謝申し上げます。そして、この記念誌が長崎県宗教者懇話会の更なる発展につながることを期待し、あとがきといたします。

平成26年11月吉日

長崎県宗教者懇話会事務局長 宮田 文嗣 拝



長崎県宗教者懇話会創立40周年記念誌 編集実行委員会

【委員長】 神崎正弘

【委員】 仏教

三浦達美／楠 達也／正木慶晴／一月正人／小田義海
堤 祐教／神崎正弘／本原大義／茨木兆輝

キリスト教

野下千年／橋本 勲／長谷 功／久志利津男

神道

岡 保夫／松本亘史

諸宗教

田平樹男／伊勢千里／久保田芳晃

【関係団体】 〔中外日報社〕河井清治／〔アジェンダNOVA長崎〕里 重光

【事務局】 宮田文嗣／糸谷典也／横山元一／前田敏博

長崎県宗教者懇話会では会員、協力会員を募集しています。
お問い合わせは、事務局までお願いします。

事務局〔鎮西大社 諏訪神社〕
〒850-0006 長崎市上西山町18番15号
電話095-824-0445／Fax095-821-9377

長崎県宗教者懇話会創立40周年記念誌 平和への祈り 1974~2014／昭和49~平成26

発行日 平成26(2014)年11月30日

発行者 長崎県宗教者懇話会
会長 野下千年

表紙題字 実行委員長 神崎正弘

組 版 聖母の騎士社

印刷 株式会社インテックス